

戦没者追悼式を開催しました

若槻地区の戦没者 260 余名に対して地区を挙げて追悼の誠を捧げ、平和を祈念する戦没者追悼式が6月10日(金) 国胎寺(上野)の招魂碑前で執り行いました。

約 60 名の出席者による国歌斉唱、黙禱に続き、粟野原潤住民自治協議会長の式辞、長野県議会議員の鈴木清様、若槻地区遺族会長の藤澤敏明様の追悼の言葉の後、参列者全員による献花が行われ、厳かに式を閉じました。

昨年は、戦後 70 年の節目に当たることから、追悼式に併せて、元零戦パイロットの原田 要様(浅川西条)のご講演をコミュニティセンターでお聴きしましたが、去る5月3日、原田様99歳でご逝去されました。年齢を感じさせないお元気で、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えておられた故人の遺志をしっかりと心に刻みたいものです。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



(区長部)

人権教育部会役員研修会 (基礎学習) 開催される



5月21日(土)に、若槻コミュニティセンター大会議室において、役員研修会を開催しました。講師に長野市人権・男女共同参画課指導主事の木内昇先生をお迎えし、コミわか各部会の役員、人権教育部会員の約 40 名が参加しました。

テーマは「高齢者に関わる人権上の問題」でした。様々な統計の数字や事例を示しつつ列挙される身体的・心理的・経済的虐待や認知症、貧困などの問題は深刻かつ身近なもので、最後に示された、高齢者の生き生きとした暮らしの実現のためには互いに挨拶を交わしあい気遣いあう地域社会を作ることが大切だという提言が心に残りました。(人権教育部会)

【支所からのお知らせ】

「ここが大好きナガノの人とまち」を募集します!

～ 広報ながの 市民参加コーナー ～

市では、より親しみのある広報紙づくりを推進するとともに、市民の皆さんに長野市の魅力をあらためて認識してもらうため、広報ながの8月号から、市民参加コーナー「ここが大好きナガノの人とまち」を始めます。

※広報では単色(白黒)で印刷されますが、ホームページにはカラーで掲載されます。

募集内容

若槻地区の自慢できるところや、より多くの人に知ってほしいことなど、「若槻」の魅力」を写真付きの記事で応募してください。

随時募集していますのでどんどん応募してください。

～具体的な例～

- ・四季折々の自然 ・地区のお祭りやイベント
- ・地区に残る伝統文化 ・若槻のがんばっている人
- ・地区の特産品や産業(企業活動は除く)
- ・私のとっておきの場所 ・ながの百景 など

応募資格

- ・市内在住または在勤の高校生以上で、写真撮影用のデジタルカメラを所有している人
- ・パソコンで電子メールのやりとりができる人
- ・ボランティアとして応募できる人

応募写真の条件

- ・写真は、応募者が撮影した未発表のものとしします。
- ・デジタルカメラで 500 万画素(2,560 × 1,920 ピクセル)以上の撮影モードで撮影した電子データ(Jpeg 形式)で、加工処理を行っていないものとしします。
- ・被写体が人の場合、被写体本人の承諾を得てください(未成年は、親権者の同意が必要です)。

応募方法

写真(1点5メガバイト未満)と、次の1から7の内容を記載の上、Eメールで広報広聴課へお送りください。

1. 題名(20文字程度)
2. 住所
3. 氏名(ふりがな)
4. 年齢
5. 電話番号
6. 写真の撮影日・撮影場所
7. 本文(写真の説明などを200から300字程度)



また、市ホームページの「ながの電子申請サービス」から所定のフォーム(<https://www.shinsei.elg-front.jp/nagano/uketsuke/dform.do?id=1465280131396>)へ入力して応募することもできます。

詳しい応募方法等は、市ホームページでご確認ください。
(“市民参加”を検索してください。)

市民参加

検索

